

平成25事業年度

決 算 報 告 書

自：平成25年 4月 1日

至：平成26年 3月31日

国立大学法人 琉球大学

平成25年度 決算報告書

国立大学法人琉球大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	11,471	11,471	-	
うち補正予算による追加	-	-	-	
施設整備費補助金	1,603	892	-711	(注1)
うち補正予算による追加	-	-	-	
船舶建造費補助金	-	-	-	
施設整備資金貸付金償還時補助金	-	-	-	
補助金等収入	791	714	-76	(注2)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	71	71	-	
自己収入	18,898	20,011	1,113	
授業料、入学料及び検定料収入	4,281	4,275	-5	(注3)
附属病院収入	14,400	15,357	957	(注4)
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	216	378	161	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,349	1,760	411	(注6)
引当金取崩	8	13	5	(注7)
長期借入金	486	445	-40	(注8)
貸付回収金	-	-	-	
承継剰余金	-	-	-	
旧法人承継積立金	-	-	-	
前中期目標期間繰越積立金取崩	-	-	-	
目的積立金取崩	-	-	-	
計	34,679	35,381	701	
支出				
業務費	29,386	30,508	1,122	
教育研究経費	15,851	15,834	-16	(注9)
うち設備災害復旧事業	-	-	-	
診療経費	13,535	14,673	1,138	(注10)
うち設備災害復旧事業	-	-	-	
一般管理費	-	-	-	
施設整備費	2,160	1,431	-729	(注11)
うち設備災害復旧事業	-	-	-	
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	791	1,128	337	(注12)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,349	1,715	366	(注13)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	991	990	-1	(注14)
国立大学財務・経営センター施設費納付金	-	-	-	
計	34,679	35,774	1,095	
収入-支出	-	-393	-393	

○予算と決算の差異について

- (注1) 事業の一部を翌年度へ繰越したことにより、予算額に比して決算額が711百万円少額となっております。
- (注2) 予算段階では予定していなかった補助金の獲得に努めたものの、予定していた補助金が減額されて交付決定されたことなどにより予算額に比して決算額が76百万円少額となっております。
- (注3) 予算段階で見込んでいた程、休学者が減少しなかったことに伴い、予算額に比して決算額も3百万円減少しております。また、入学料及び検定料収入についても、入学者の減少、学部・大学院受験者の減少により予算額に比してそれぞれ1百万円、決算額が減少となっております。よって、予算額に比して決算額が5百万円少額となっております。
- (注4) 入院・外来患者数及び手術件数の増加による収入の増により予算額に比して決算額が957百万円多額となっております。
- (注5) 予算段階では予定していなかった建物等の財産貸付料、教員免許更新講習による講習料の増加により、予算額に比して決算額が161百万円多額となっております。
- (注6) 外部資金の獲得に努めたことにより、予算額に比して決算額が411百万円多額となっております。
- (注7) 予算段階での見込みより定員外職員の退職者が多かったため、予算額に比して決算額が5百万円多額となっております。
- (注8) 基幹・環境整備事業における落札率の低下により予算額より契約金額が下回ったため、借入額が予算額に比して40百万円少額となっております。
- (注9) 人件費の支出は予算段階での見込みより減少したため決算額が469百万円少額となっております。一方で、経費の支出は災害対策事業・老朽化対策事業の一環として工具器具備品等の取得、修繕費・備品費などにより予算額に比して決算額が453万円多額となっております。よって、予算額に比して決算額が16百万円少額となっております。
- (注10) (注4)に記載した要因、診療機能強化・地域医療体制強化に向けた人員の雇用の増及び認定看護師の育成や看護師の専門性向上のための研修費の増により予算額に比して決算額が1,138百万円多額となっております。
- (注11) (注1)及び(注8)に記載した要因により、予算額に比して決算額が729百万円少額となっております。
- (注12) 繰り越した補助金による使用等により予算額に比して決算額が337百万円多額となっております。
- (注13) (注6)に記載の理由により受入額が増加したことに伴う支出増及び繰り越した寄附金による支出の増により予算額に比して決算額が366百万円多額となっております。
- (注14) 償還利率の見直し及び今期借入額減少により、予算額に比して決算額が1百万円少額となっております。